

### 《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

#### ◆ 暫定予算成立 26年度予算案は月内成立断念

・2026年度暫定予算は30日、衆参両院の本会議で与党などの賛成多数で可決され、成立。政府・与党は同日、26年度予算案の月内成立を断念した。暫定予算は26年度予算案が成立するまでの期間に必要な政府支出の財源となる。暫定予算の成立は安倍晋三政権だった15年以来11年ぶり。一般会計の総額はおよそ8兆6000億円。

#### ◆ 大企業製造業の景況感、改善見通し 日銀3月短観の民間予測

・日銀が4月1日に発表する3月の全国企業短期経済観測調査(短観)の民間エコノミスト予測がほぼ出そろった。米国とイスラエルのイラン攻撃後で初の大規模な企業調査となるが、現時点で景況感の大幅な悪化を見込む声は少ない。堅調な人工知能(AI)関連需要などを支えに、大企業製造業の景況感は改善が見込まれる。

#### ◆ 世界株安3つの要因 原油高・AI警戒・金融懸念、4月も下げ圧力

・世界の株式相場の下落が鮮明。米国・イスラエルによるイラン攻撃は開始から1カ月が経過したが、なお収束の見通しは立たない。市場は攻撃の長期化や原油高による景気減速、企業業績の悪化を意識し始めた。人工知能(AI)関連銘柄の短期的な過熱感や、プライベートクレジット(ノンバンク融資)への不安も株安を招いている。

### 《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

#### ◆ 2月の国内建設受注額43%増 電気機械や不動産向け好調

・日本建設業連合会が発表した2月の国内建設受注額は前年同月比43%増の1兆8006億円。プラスは4カ月連続。電気機械や不動産など民間からの受注が好調で、価格転嫁も進んだ。国内建設受注額は加盟92社のデータを足し合わせて算出。2月単月では過去20年で最高。民間からの受注額は41%増の1兆2377億円で、内製造業は34%増の3740億円。

#### ◆ 壁量基準改正の経過措置、3月末で終了 国交省が注意呼びかけ

・2025年4月の建築基準法改正で、省エネ化による建物の重量化などを踏まえて木造住宅の壁量、柱の小径の基準が見直された。改正にあたって設けられた1年間の経過措置が、3月31日をもって終了。旧基準で確認済証の交付を受けていても、着工のタイミングなどによっては改正後の基準に適合する必要があるため、国土交通省が注意を呼びかけ。

#### ◆ 積水化学、4月1日出荷分より塩素化塩ビ樹脂およびコンパウンド製品を値上げ

・塩素化塩化ビニル(CPVC)樹脂およびCPVCコンパウンド製品について、先般発生しましたイラン紛争の影響を受け、短期間で材料価格を中心に各種コストが急激に高騰する状況であり、自助努力での解決が極めて困難となっていることから、今後の安定供給に向けて、販売価格の改定に踏み切ることとした。

### 《 注目商品 》

#### ■ DAIKEN、マグネット対応壁材「スタイルアート マグネットタイプ」

・マグネットが自由に貼れる壁材の新たな製品展開として、豊富な色柄で当社の収納・建具製品との同色コーディネートも可能な『スタイルアート マグネットタイプ』を発売。住宅における壁面の有効活用ニーズが高まる中、マグネットの使用を可能とする壁材を追加。

#### ■ アイカ工業、浴室・水廻り用化粧板の新柄4点

・軽量でカッターでも簡単にカットできる浴室・水廻り用の壁面パネルに新柄4点を追加し計43点にラインナップ拡充。極限まで光沢を抑えたマット感とドライな手触り感で上質な空間を演出する「IMPACT MATTE (インパクトマット)」には、グレーカラーのモルタル調と石目調の2点を品揃え。

#### ■ LIXIL、5つの吐水モード搭載のシャワーヘッド

・微細なミストでやさしく洗う「フェイスミスト」、粒の大きく暖かいミストで全身を洗う「ボディミスト」、空気を含んだ大粒の水滴で洗い上げる「アクアスプレー」、勢いのある水流の「パワフルスプレー」、強力水流で髪の毛の根元や浴室掃除に適した「クレンズジェット」を搭載。

